

# SUMITOMO RUBBER INDUSTRIES REPORT

住友ゴムレポート

第132期 報告書

2023年1月1日 ▶ 2023年12月31日



住友ゴム工業株式会社  
SUMITOMO RUBBER INDUSTRIES, LTD.

## 中期計画の着実な実行と足元の業績改善で、過去最高水準の業績に。



代表取締役  
社長 山本 悟

令和6年能登半島地震で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早く平穏な生活を取り戻されることを心よりお祈り申し上げます。

当期の世界経済は、インフレと金融引き締め策、ウクライナや中東における地政学的緊張などの影響で一部の地域において弱さがみられるものの、全体としては持ち直しの傾向にあり、国内の景気も緩やかに回復している状況です。当社グループを取り巻く情勢につきましては、前期に高騰した海上輸送コストが大きく低下し、原材料価格やエネルギーコストにも一服感が見られるようになってきたことで、利益状況は前期と比較して大幅に改善しました。このような中、当社グループは、2027年を目標年度とした中期計画の実現に向けて、経営基盤強化の

ための全社プロジェクトを強力に推進するとともに、顧客ニーズに対応した高機能商品を開発・増販するなど、競争力の強化にグループを挙げて取り組みました。

この結果、当社グループの業績は増収増益となりコロナ禍前の水準を上回るとともに、売上収益は過去最高を更新しました。

事業別には、タイヤ事業では、数量が前期に比べ若干減少したものの、価格改善や高機能商品増販による構成改善などの販売努力に加え、為替影響もあり、創業以来初めて売上が1兆円を超え増収増益となりました。スポーツ事業では、2023年12月に発売した13代目「ゼクシオ」ゴルフクラブの好調な滑り出しもあり増収増益となり、特に事業利益は過去最高を更新しました。産業品他事業では、医療用ゴム製品事業・インフラ事業が好調で増収増益となりました。



決算短信・説明会情報は、当社ウェブサイトにてご覧いただけます。

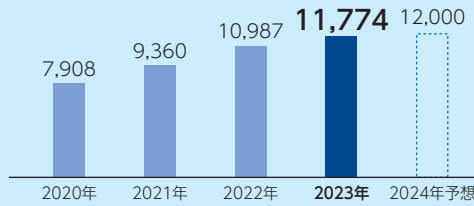
<https://www.srigroup.co.jp/ir/library/archive/index.html>



### CONSOLIDATED FINANCIAL HIGHLIGHTS

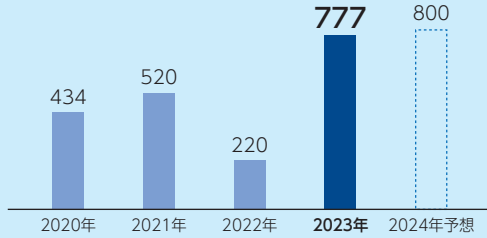
### 連結財務ハイライト

#### 売上収益(億円)



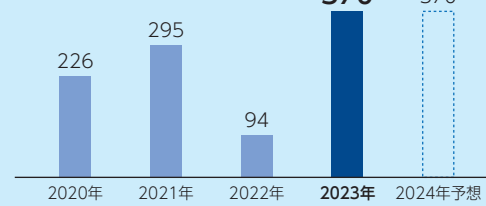
2023年度 11,774億円 前期比 7.2% ↑

#### 事業利益(億円)



2023年度 777億円 前期比 253.6% ↑ 事業利益率 6.6%

#### 親会社の所有者に帰属する当期利益(億円)



2023年度 370億円 前期比 293.5% ↑

#### ROE

2023年度 6.3%

#### ROA

2023年度 6.2%

#### D/Eレシオ

2023年度 0.5倍

#### ROIC

2023年度 5.7%

### 定時株主総会決議ご通知

2024年3月28日開催の第132期定時株主総会において次のとおり報告および決議（原案どおり承認可決）されましたので、ご通知申し上げます。

#### 報告事項

- 第132期（2023年1月1日から2023年12月31日まで）事業報告、連結計算書類ならびに会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件  
本件は、その内容を報告いたしました。
- 第132期（2023年1月1日から2023年12月31日まで）計算書類報告の件  
本件は、その内容を報告いたしました。

#### 決議事項

- 第1号議案 剰余金の処分の件  
期末配当金は、1株につき53円と決定いたしました。
- 第2号議案 取締役12名選任の件  
候補者12名が選任され、それぞれ就任いたしました。
- 第3号議案 監査役2名選任の件  
候補者2名が選任され、それぞれ就任いたしました。

おって、総会終了後開催の取締役会および監査役会において、代表取締役、役付取締役および執行役員ならびに常勤監査役が選定され、それぞれ就任いたしました。この結果、現在の当社の取締役、監査役および執行役員は次のとおりであります。

#### 取締役および監査役

代表取締役社長 山本 悟 (社長)  
代表取締役 西口 豪一 (専務執行役員)  
取締役 村岡 清繁 (常務執行役員)  
取締役 西野 正貢 (常務執行役員)  
取締役 大川 直記 (常務執行役員)  
取締役 國安 恭彰 (常務執行役員)  
取締役 川松 英明 (常務執行役員)  
社外取締役 高坂 敬三  
社外取締役 其田 真理

#### 執行役員

社外取締役 谷所 敬  
社外取締役 札場 操  
社外取締役 本島なおみ  
常勤監査役 木滑 和生  
常勤監査役 石田 宏樹  
社外監査役 アスリ・チョルパン  
社外監査役 安原 裕文  
社外監査役 田川 利一

常務執行役員 増田 智彦  
常務執行役員 渡辺 泰生  
常務執行役員 松井 博司  
常務執行役員 濱田 裕史  
執行役員 小松 俊彦  
執行役員 齋藤 健司  
執行役員 河瀬 二郎  
執行役員 水野 洋一

執行役員 井川 潔  
執行役員 坂下 信吾  
執行役員 田中 進  
執行役員 津崎 正浩  
執行役員 日野 仁  
執行役員 朝倉 健  
執行役員 森山 圭治  
執行役員 鈴木 秀法

#### 期末配当金のお支払いについて

第132期期末配当金は、同封の「第132期期末配当金領収証」によりお支払いいたしますので、払渡期間内（2024年3月29日から同年5月27日まで）にお近くのゆうちょ銀行全国本支店および出張所ならびに郵便局（銀行代理業者）でお受け取りください。

なお、口座振込をご指定の方には、「配当金計算書」および「お振込先について」を同封いたしますので、ご確認くださいませようお願い申し上げます（株式数比例配分方式を選択された場合の配当金のお振込先につきましては、お取引の口座管理機関（証券会社）へお問い合わせください。）。

(注) 1. ( ) 内の役職は、取締役の執行役員としての役職を表しております。  
2. 当社は、社外取締役 高坂敬三氏、同 其田真理氏、同 谷所敬氏、同 札場操氏および同 本島なおみ氏ならびに社外監査役 アスリ・チョルパン氏、同 安原裕文氏および同 田川利一氏を、東京証券取引所が定める一般株主と利益相反が生じるおそれのない独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。



# 中期計画の進捗 利益向上とキャッシュ創出に注力し、経営指標が大幅良化。今後も収益の質や成長の持続性を考慮しながら推進。

## 中期計画の進捗

ターニングポイントの2025年までに、既存事業の選択と集中、成長事業の基盤づくりを推進するとともに、財務目標を前倒しで達成することを旨とし、グループを挙げて取り組んでいます。



## 既存事業の選択と集中

■ 構造改革の状況  
対象約10事業で、2023年～2024年を目途付け時期としていた6事業・商材のうち、2事業の撤退・売却を決定。

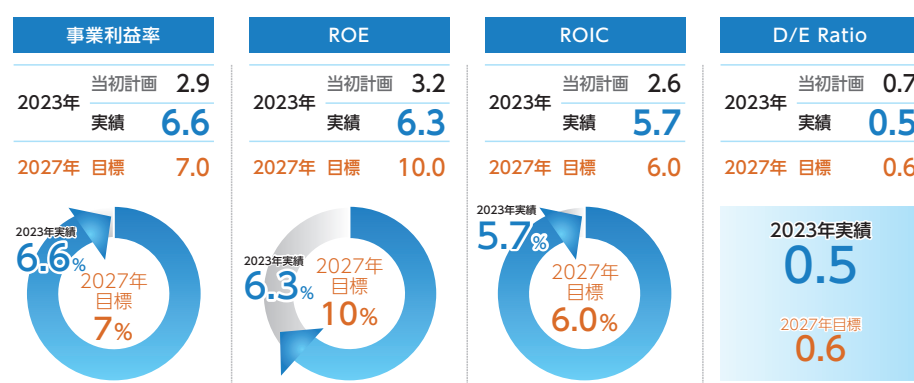
事業名	概要	進捗
ガス管事業	国内家庭用ガス管の生産・販売事業から撤退	2025年3月末までに撤退予定
欧州 医療用ゴム事業	欧州の製造・販売子会社 Lonstroff AGを売却	2024年1月31日完了済み

リソース（技術開発・人材・投資等）を成長が見込まれる事業へシフトさせ、収益性の向上を図る

## 資本コストを意識した経営の実現に向けた対応について

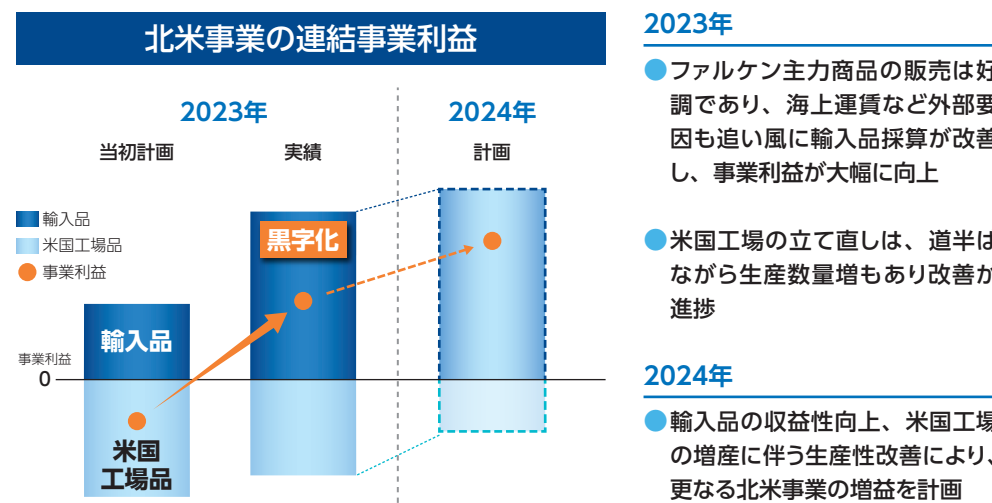
構造改革を完遂し成長戦略を推進する。あわせて財務戦略・IR強化に取り組む。

構造改革	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 選択と集中の完遂 → 事業ポートフォリオ最適化</li> <li>● 成長事業への経営資源のリソース・シフト</li> </ul>
成長戦略	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 当社独自技術の発展</li> <li>● ESG経営の推進</li> <li>● DX経営の実践 など</li> </ul>
財務戦略	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ROIC・キャッシュフロー経営の推進、浸透</li> <li>● 政策保有株式の縮減</li> </ul>
IR強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 証券アナリスト、機関投資家との能動的な面談の実施</li> <li>● 見学会、事業・技術説明会の積極的開催</li> </ul>

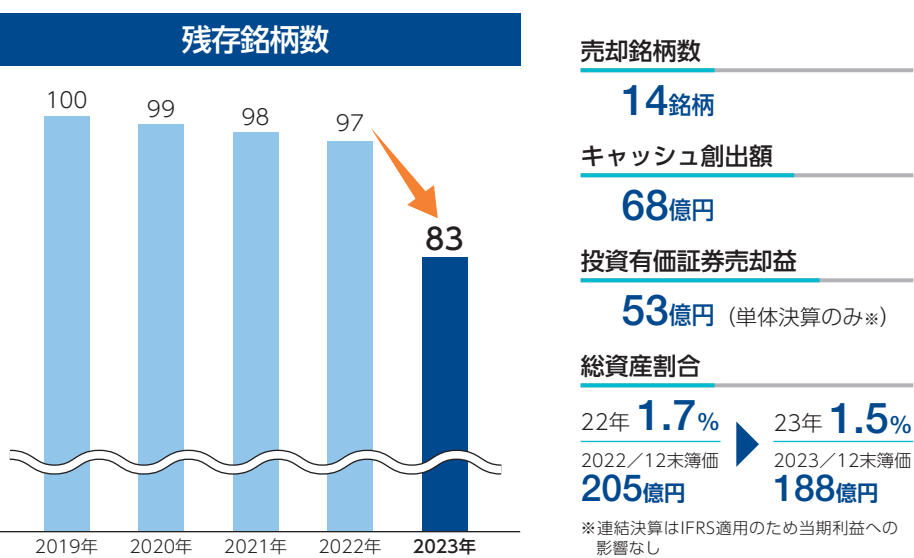


中期計画の着実な実行に加え、足元の業績改善として外部環境の追い風を取り込むとともに、値上げや構成改善、経費やコスト抑制に全社で注力した結果、利益向上につなげることができました。また、キャッシュ創出では、利益増に加え、2020年から取り組む全社での在庫圧縮、債権短縮などの効果や投資抑制により改善が進みました。その結果、中期計画の財務目標として掲げた経営指標につきまして、大幅良化につなげることができました。引き続き、更なる改善を目指し中期計画を推進することで、前倒し達成を目指します。

■ 北米事業の状況  
当初計画以上に改善が進捗し黒字化を達成。更なる改善に取り組みつつ、あらゆる選択肢を検討。



## 政策保有株式の縮減



詳細は、当社ウェブサイトにてご覧いただけます。  
<https://www.srigroup.co.jp/corporate/vision.html>

## タイヤ事業

水や温度にตอบสนองしてゴムが性質を変える  
独自のゴム技術「ACTIVE TREAD」でタイヤの未来をひらく

クルマやモビリティに求められる価値観がめまぐるしく変化する中、当社は2017年にタイヤ技術開発コンセプト「SMART TYRE CONCEPT (スマートタイヤコンセプト)」を発表し、安全で環境に優しいサステナブルなタイヤの開発を進めてきました。

「ACTIVE TREAD (アクティブトレッド)」はその技術の1つで、雨(水)が降ったり、気温(温度)が下がったりするとゴムが柔らかくなりグリップ力が増して滑りにくくなります。この機能は、1つのタイヤで2つ以上のタイヤ性能を持つということを含み、これまでのタイヤの常識では考えられない特性を持っています。

現在、水に触れるとゴムが柔らかくなる「TYPE WET (タイプウエット)」と、低温になるとゴムが柔らかくなる「TYPE ICE (タイプアイス)」の2つの技術を開発し、まずは次世代オールシーズンタイヤでは2024年に、続いて次世代EV用タイヤでは2027年に、当技術を搭載予定です。

今後、お客様の安全性を様々な環境下で高めた全天候型タイヤの実現へ開発を進めてまいります。



## 水、温度をトリガーとするアクティブトレッドの2つの技術



## TYPE WET コンセプトタイヤの性能(制動距離)



## スポーツ事業

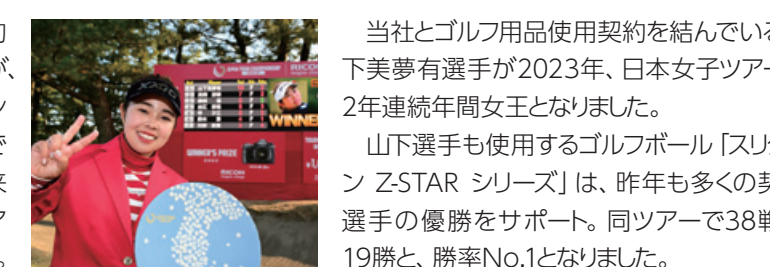
“芯”を広げる新技術「BIFLEX FACE」と進化した“飛びの翼”New「ActivWing」でボールスピードがアップ  
「ゼクシオ 13」、「ゼクシオ エックス」ドライバーを新発売

大きな飛びと振りやすさ、爽快な打球音で好評をいただいている「ゼクシオ」ドライバーのNEWモデルを2023年12月から販売しました。ラインアップは、やさしく、高弾道で気持ちよく飛ばせる「ゼクシオ 13 (サーティーン)」と、しっかり振り切れて強弾道で飛ばせる「ゼクシオ エックス」の2機種です。国内での滑り出しは順調です。

当社のスリクソンゴルフクラブ、ボールが勝利をサポート  
松山英樹選手がアジア勢最多のPGAツアー9勝目



山下美夢有選手が日本女子ツアーで2年連続年間女王に



当社とゴルフ用品使用契約を結んでいる山下美夢有選手が2023年、日本女子ツアーで2年連続年間女王となりました。山下選手も使用するゴルフボール「スリクソン Z-STAR シリーズ」は、昨年も多く契約選手の優勝をサポート。同ツアーで38戦中19勝と、勝率No.1となりました。



松山選手、山下選手を支える主なギア



ゴルフクラブ「スリクソン Z X Mk II シリーズ」

ゴルフボール「スリクソン Z-STAR シリーズ」

## 産業品他事業

大切な人の命・暮らし・未来を守りたい  
二度の大震災を経験した企業として制振事業に取り組み続ける

戸建住宅用制震ユニット「MIRAIE (ミライエ)」は、地震の際に繰り返される揺れを抑える製品です。「MIRAIE」は、実物大実験で震度7の揺れに14回耐えることが確認されています(※)。

令和6年能登半島地震で震度6弱以上を観測し、特に被害の大きかった珠洲市、輪島市、能登町、穴水町、七尾市、志賀町において、当社ダンパーを装着した住宅約300棟では倒壊や大きな損傷が無いことを外観から確認しました。(通行止めが続き、立ち入り不可能な1棟を除く)

引き続き地震に強いまちづくりに取り組むことで、人々がより安心して、安全・快適に生活できる社会づくりに貢献してまいります。

※ 2018年2月京都大学防災研究所でのMIRAIE軸組を使用した実物大実験の結果による。

### 制振事業のあゆみ

1995年 阪神淡路大震災により被災  
被災から社会貢献を目指し制振技術開発を本格化  
2011年 東日本大震災により被災  
2012年より多くの人に安心・安全を届けるべく「MIRAIE」の販売を開始

### 製品ラインナップ

高機能新築用の「MIRAIE」の他、より簡易的に設置できる製品も揃え、用途に合わせたご提案を実施しております。







ENVIRONMENT

サプライチェーン全体のカーボンニュートラル達成に向けた2030年目標を設定

当社グループの温室効果ガス排出量はスコープ3が約9割を占めており、サプライチェーン全体におけるカーボンニュートラル達成に向けて、スコープ3排出量のほぼ全てをカバーした2030年目標を設定しました。また、スコープ1,2においては2030年時点で2017年比50%削減の目標を2021年に設定していましたが、中国やタイのタイヤ工場における電力の再生可能エネルギー化など各拠点の積極的な取り組みにより前倒しで削減に取り組むことができたため、目標値を2030年時点で2017年比55%削減に引き上げました。

今後もサプライチェーン全体のカーボンニュートラル達成およびサーキュラーエコノミーの実現に向けた取り組みを加速させ、持続可能な社会の発展に貢献していきます。

- **スコープ1**：事業者自らによる温室効果ガスの直接排出
- **スコープ2**：他社から供給された電気の使用に伴う間接排出
- **スコープ3**：スコープ1,2以外の間接的な排出（事業に関連する他社による排出）

カーボンニュートラル2030年目標値および主な取り組み



SOCIAL

人権やダイバーシティ(多様性)などへの様々な取り組みを進めています

当社グループは企業理念体系「Our Philosophy」を体現するため、ダイバーシティ&インクルージョン（D&I）を経営上の重点課題と位置付け、グローバルに展開する事業で起こりうる人権課題について理解し、適切な行動をとっていくことが土台になると考えています。今後も「最高の安心とヨロコビ」を提供しステークホルダーから信頼される企業であり続けるため、グループ全体で人権尊重やD&Iに向けた取り組みをさらに推進してまいります。

人権尊重への取り組みを一層強化すべく「住友ゴムグループ人権方針」を策定

人権の尊重については、これまでコンプライアンスガイドライン「企業行動基準」において人権の尊重や多様性に関する行動指針を定め、2022年には国際連合が提唱する「国連グローバル・コンパクト」に署名し、2023年には「住友グループ人権方針」を策定するなどの取り組みを進めてまいりました。現在は、人権リスク調査・評価など人権デューデリジェンスの体制構築に向けて取り組んでおり、2025年の運用実施開始を目指しています。

京都大学女性エグゼクティブ・リーダー育成プログラムへ幹部候補社員が参画中

女性活躍推進施策の一環として、より強力に女性幹部の育成を進めていくため、京都大学女性エグゼクティブ・リーダープログラムへ企業正会員として参画いたしました。現在も複数の当社女性部長が講座を受講中で、経営に必要な知見の習得だけでなく、社外とのネットワーキングにも効果をあげています。今後も社内の女性活躍推進に取り組んでいくにあたり、女性管理職比率向上施策と合わせ、継続的な女性幹部候補の育成にも注力してまいります。



活動内容

ESG経営推進に関する当社グループの詳しい活動内容につきましては、「統合報告書2023」にも記載しています。



GOVERNANCE

ガイダンスや勉強会など役員向け教育にも注力しています

社内取締役を対象に、外部講師を招いて勉強会を実施し、取締役の法的責任および役割やコーポレートガバナンスを取巻く現況への理解を深め、ガバナンスの実効性向上を図っております。また、D&I推進において、経営層によるコミットメントが非常に重要と考え、役員への教育・対話や提言の機会を積極的に設けています。2023年には社外役員による女性活躍推進の重要性・取り組みについての役員向け勉強会や、社長と女性部長との意見交換会なども実施しました。

CORPORATE PROFILE / STOCK INFORMATION

会社 / 株式情報

会社の概要

(2023年12月31日現在)

創業 1909年10月4日  
 資本金 42,658,013,576円  
 従業員 7,705名  
 本社 神戸市中央区脇浜町三丁目6番9号  
 電話078-265-3000(代表)  
 東京本社 東京都江東区豊洲三丁目3番3号  
 豊洲センタービル  
 電話03-5546-0111(代表)  
 工場  
 〈タイヤ事業〉 白河・名古屋・泉大津・宮崎・インドネシア・中国(常熟・湖南)・タイ・ブラジル・南アフリカ・トルコ・米国  
 〈スポーツ事業〉 市島・宮崎・インドネシア・フィリピン・タイ・米国  
 〈産品事業〉 加古川・泉大津・マレーシア・中国(中山)・ベトナム・スイス・スロベニア

株主メモ

事業年度 毎年1月1日から12月31日まで  
 定時株主総会 毎年3月開催  
 基準日 定時株主総会 毎年12月31日  
 期末配当 毎年12月31日  
 中間配当 毎年6月30日  
 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日  
 公告の方法 電子公告。ただし、不測の事態により電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載します。  
 公告掲載URL https://www.srigroup.co.jp/  
 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行(株)  
 株主名簿管理人 三井住友信託銀行(株) 証券代行部  
 事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号  
 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
 三井住友信託銀行(株) 証券代行部  
 ☎0120-782-031(フリーダイヤル)  
 受付時間 9:00~17:00(土日休日を除く)



ウェブサイトのご案内

当社ウェブサイトでは、IR情報や決算情報をはじめとした情報開示を行っています。株式等の状況はこちらからご覧いただけます。

